

一般質問

●十二湖エリアのインフラ整備について問う

答弁：外国人旅行者が急激な伸び率で増加していることを実感している。国内外のお客様が快適に観光できるよう、財源等を確保しながら環境整備を図っていききたい。



菊池源悦議員

《菊池議員》

青森県は外国人の誘客に力を注いでおり、外国人宿泊者数は東北6県の中でも、伸び率が1番である。当町でも、大型バスで来る外国人が年々増加傾向であるとのことである。あるガイドさんの話であるが、3、4時間の十二湖散策で気になったのがトイレ事情だと言っていた。おもてなしにもいろいろな形があると思うが、町の観光事業の発展のために多様化するニーズに対応することも町の責務ではないか。

また、安全に森林浴と世界自然遺産の雰囲気を楽しむ最高のエリアにするため、次のことについて伺う。

①施設内のトイレは完備されているが、公衆トイレの水洗化とスペースの

拡大が必要と思うが、その考えは。

②十二湖地内の散策路、特に森の物産館を起点とする約1時間の散策路の整備が是非必要だと思いが、町の考えは。

《町長》

当町の外国人旅行者の宿泊数は、平成28年度が1976人、平成29年度は2865人と45パーセントの増加となっている。既に町では、増加する外国人観光者への対応に向け、町内の主要観光関連施設等において、Wi-Fi（ワイファイ）環境の整備・支援を実施しており、トイレ環境の整備についても快適に過ごしていただくためのおもてなしの基本であると認識している。

①昨年、観光課において、トイレの新式への交換、増設など優先順

位を検討しながら調査を行っている。特に観光スポットにおける水回りの整備は旅を快適に過ごしていただく基本であることから、今後、更なる観光振興を目指すため、時代に即したトイレ整備を図っていききたい。

②青池の階段部分約100メートルのうち、青池のデッキ及び階段部分は県管理の施設である。当該施設は老朽化による損傷が見られるため、昨年9月、県へ補修等の要望をしている。その結果、今年のオフシーズン（11月以降）に、平成30年度予算で青池デッキを含め、階段部分も補修する予定としている。

また、ブナ自然林から沸壺の池を通って車道に出る500メートルの区間については、今後とも散策路の監視を強化し、

状況によって整備を検討していききたい。

▼老朽化した青池の階段



▲老朽化した青池のデッキ



▲新深浦診療所

各学校が連携を取り合同部活動に取り組んでいる

また、小学校においては、野球で合同チームを結成して試合に出場している事例もあることから、

参加した事例もある。

また、小学校において、野球場で合同チームを結成して試合に出場している事例もあることから、

各学校が連携を取り合同部活動に取り組んでいる

また、小学校のスポーツ少年団結成については、

また、小学校のスポーツ少年団結成については、

また、小学校のスポーツ少年団結成については、

また、小学校のスポーツ少年団結成については、

また、小学校のスポーツ少年団結成については、

また、小学校のスポーツ少年団結成については、

また、小学校のスポーツ少年団結成については、

また、小学校のスポーツ少年団結成については、

また、小学校のスポーツ少年団結成については、



▲キャニオン入口のトイレ



▲王池駐車場のトイレ

整備が求められる公衆トイレの一部

① 6月1日からはバス送迎になるが、それを利用して、買い物難民対策の一環として活用してはどうか。

② 乗降時の事故防止のため、補助員の同乗を考慮してはどうか、町長の考えを伺う。

③ 武道の時間が設けられ、

状況であるので、町としても協力していきたい。

② 「中学校の外部コーチの採用」については、各学校の指導方針などから、深浦中学校では卓球部で2人、バスケットボール部で1人のボランティアコーチが入っているが、いずれにしても、コーチの人材が不足している状況にある。

学校や地域の状況の違いによって、取組み方が違っているが、町としては、県からの要請を受け自由参加型の総合型地域スポーツクラブ「ジョイスポ」の活動を支援して、走り方教室やウォーキングなどのスポーツに取り組んでいる事例もある。活動には適切な指導者が必要であるため、

大戸瀬中学校では2学期に10単位時間行っている状況である。

また、「ダンスの時間」は、「表現運動」という領域に位置付けられ、発達段階に応じてダンスやリズム運動など行う内容で、学習発表会や運動会のダンス練習などで取り組んでいる状況である。

**町診療所開所時におけるバス運行と買い物難民対策は**

《菊池議員》

6月に待ちに待った診療所が開設されることに伴い、岩崎診療所が閉鎖されるが、岩崎地区の住民の方々の理解を得るためにも、町民目線に立った運営、心のこもったサービスを提供する必要があると思う。

① 6月1日からはバス送迎になるが、それを利用して、買い物難民対策の一環として活用してはどうか。

② 乗降時の事故防止のため、補助員の同乗を考慮してはどうか、町長の考えを伺う。

送迎は、株式会社ふかつら開発に運行を委託し、大間越からの岩崎方面は月・水・金曜日の週3日、田野沢からの大戸瀬方面は火・木曜日の週2日、深浦本町内は月から金曜日までの毎日運行し、松原地区は火曜日の週1日を予定しており、当面、診療所専用と考える。しかしながら、買い物などの生活を支援する公共交通の在り方は必要と思っている。今後、地域公共交通活性化協議会の議論を踏まえ買い物弱者の支援を検討したい。

安全運転に十分配慮した運転を心掛けるよう、要請したい考えである。

《菊池議員》

文部科学省では、長時間労働を緩和するために、勤務時間の上限を検討し、学校現場に示す方針を決定したとのことである。中学校の運動部活動を主に対象とした、1日の部活動時間は2時間、1週間に2日は休むなどの規定を盛り込んだガイドラインである。

できない場合、拠点校による合同部活動等を推進するとも示されている。当町では、いち早くこの問題に直面すると思うが、この問題をどのように考えているか伺う。

② 学校と地域、保護者が子供の健全な成長のための教育スポーツ環境の充実を支援するパートナーという考えの下、町教育委員会として、各中学校の部活動に外部コーチの採用を考えてみてはどうか。

**文部科学省が示す「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」への対応について**

また、小学生に対しては、スポーツ少年団を結成して、町内の子供たちが交流を深め、スポーツを通じて成長させるのも町の責務と思うが見解を伺う。